

市内米軍施設の早期返還促進と跡地の利用等

(内閣府・外務省・財務省・国土交通省・防衛庁・防衛施設庁)

(提案・要望項目)

- 1 市内米軍施設の**早期返還の促進**及び**跡地利用の推進**
- 2 住宅等建設に係る**地元への十分な配慮等**

(理由・考え方)

- ・横浜市は、3年後の2009(平成21)年に迎える**横浜開港150周年**に向け、**市内米軍施設の早期返還と跡地利用の推進**に取り組んでいる。
- ・**施設返還**については、16年10月に日米合同委員会において、市内米軍施設8施設のうち6施設を対象とした返還方針が合意された。この中で一部返還とされた**旧小柴貯油施設**は、17年12月に**陸地部分全域の返還**が実現したものの、残る施設の返還時期は明らかになっていない。
- ・**跡地利用**については、関係省庁が参画した「**横浜市返還施設跡地利用構想検討委員会**」が、17年12月に「**返還施設の跡地利用に関する提言**」をまとめた。横浜市は、提言に対する市民意見を募集し、18年6月に「**米軍施設返還跡地利用指針**」を策定した。
- ・横浜市は、中心市街地や港湾施設などが広範囲に長期間接収されたために、**戦後の復興が著しく遅れること**となった。また、他の大都市には例を見ない大規模な米軍施設の存在が、**まちづくりや市民生活に大きな制約を与えてきた**。
- ・このような**横浜市民の基地負担を十分に考慮し**、省庁の垣根を越えた協力によって、望ましい跡地利用を進めていく必要がある。
- ・一方、16年10月に日米合同委員会において合意された**住宅等建設**については、新たな負担や影響が及ばないよう、国は**地元**に**最大限配慮**していく必要がある。

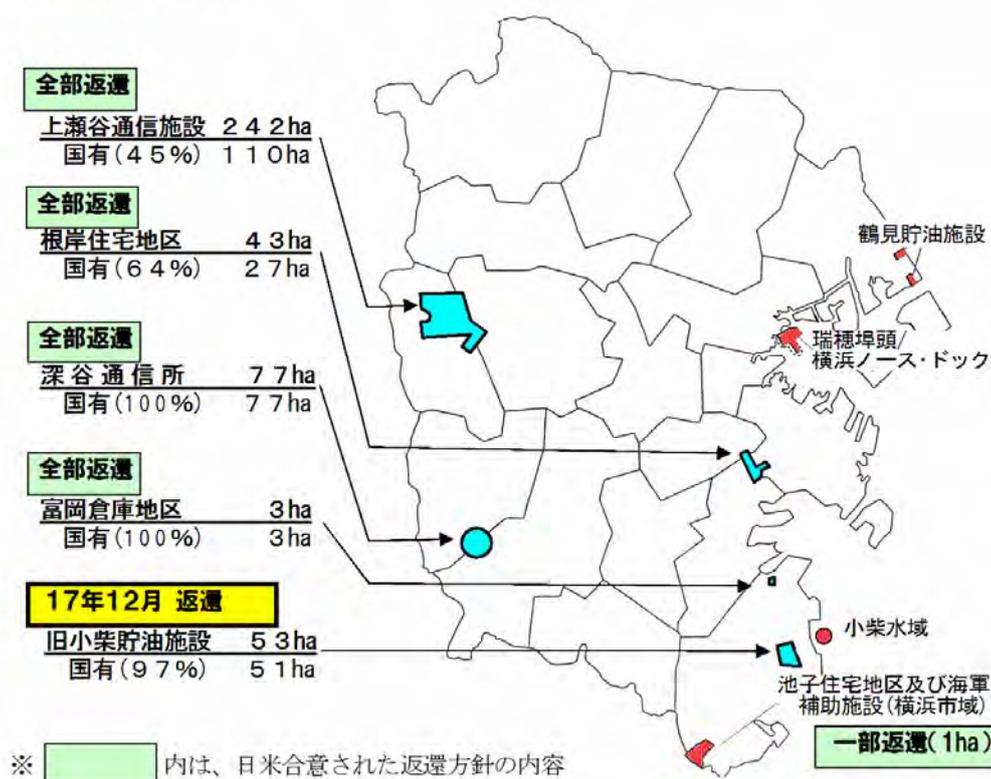
1 施設返還、跡地利用

- ◆引き続き、市内米軍施設及び区域の早期全面返還に取り組むこと。
特に深谷通信所、富岡倉庫地区については早急な返還を実現すること。
- ◆返還された旧小柴貯油施設は97パーセントが国有地であり、他の返還方針が合意されている施設にも国有地が大規模に所在している。
「米軍施設返還跡地利用指針」に沿った国事業の実施、地球温暖化防止に寄与する緑地の保全・創出に際しての返還国有地の無償利用について、十分考慮すること。
- ◆上瀬谷通信施設、根岸住宅地区は、国有地と民有地が混在している。両施設の返還に際しては、土地利用の制約を受けてきた所有者に十分配慮するとともに、土地の整序を行うなど返還跡地の有効活用に向けた検討を行うこと。また、上瀬谷通信施設内に予定する都市計画道路の早期整備に協力すること。
- ◆旧小柴貯油施設をはじめ返還施設の管理にあたっては、防犯・火災予防等に万全を期すとともに、施設内の土壌・工作物等の実態を明らかにしたうえで、これらが今後の跡地利用の支障とならないよう適切に対処すること。

2 池子住宅地区及び海軍補助施設の横浜市域における住宅等建設

- ◆地元の要望に最大限配慮すること。
- ◆都市計画法などの関係法令、条例、基準等を遵守するとともに、自然環境の保全、周辺地域への影響に十分配慮すること。
- ◆返還方針が合意されている飛び地の跡地利用をはじめ、周辺地域の道路整備など、まちづくりに積極的に協力すること。

○ 横浜市内米軍施設



○ 米軍施設返還跡地利用指針

施設名	施設別テーマ及び跡地利用の方向
上瀬谷通信施設	農・緑・防災の大規模な野外活動空間 <ol style="list-style-type: none"> ① 広域の防災活動拠点・広域機能の立地 ② 「緑」を享受する首都圏郊外の自然レクリエーション空間 ③ 持続的で魅力ある都市型農業の振興 ④ 交通利便性の向上に資する基盤整備
深谷通信所	自然・スポーツ・文化の円形緑陰空間 <ol style="list-style-type: none"> ① 特色あるデザインを持つ大規模な公園・緑地 ② 交通利便性の向上に資する基盤整備 ③ 防災拠点機能の形成
富岡倉庫地区	海と丘をむすぶ産業創造空間 <ol style="list-style-type: none"> ① 産業振興に寄与する拠点 ② 地域の魅力向上
根岸住宅地区	ヨコハマの歴史・文化を伝える庭園散策空間 <ol style="list-style-type: none"> ① 特色ある現環境の活用 ② 根岸森林公園との一体利用 ③ 周辺市街地の都市機能改善への寄与
旧小柴貯油施設	森と海に抱かれた自然体験空間 <ol style="list-style-type: none"> ① 緑のオープンスペース、市民レクリエーション空間 ② 魅力的な景観の保全 ③ 広域機能の立地